



第80号 (季刊)  
平成18年10月  
田中野田町内会

<http://townweb.e-okayamacity.jp/tanakanoda/>

## ふれあい新聞 80号の発刊によせて



田中野田町内会  
会長 和氣 健

わが町内会の誇るべき宝として、いくつかのものがありますが、その一つに「ふれあい新聞の発刊」を挙げることができます。昭和62年1月1日に創刊号を発行して以来20年、年4回のペースを守り、継続して来ました。そして、ここに記念すべき八十号を迎えたのです。

ひとくちに20年と言いますが、こうした任意団体で会長他、役員が数年ごとに替わっていく中で、続けていくことは極めて希なケースと言えます。今日までの先人達のご努力に心から感謝申し上げたいと思います。

第1回号紙から、当時の町内会長「中尾佐之吉さん」あいさつ文を、少し紹介させていただきます

「町内会の運営には皆様方とのコミュニケーションが最も大切であると存じまして、かねてから『町内だより』発刊を企画していましたが、機熟してこのたび実現のはこびとなりました。

ご覧のようにささやかなものです。今後よりよいものに成長させていきたいと念願していますので皆様方のご意見、ご支援を賜りますようにお願いします。」

とあり、町内の団体、サークルの紹介から始まっているのですが、田中野田町内をよくしたい、新聞を発刊し町内のコミュニケーションを高めたいとの高い理念や意図がうかがえます。現在のようにパソコンソフトもないなかで、ワープロを駆使し、苦勞しながらの作成であったことが十分に忍ばれます。ちなみに、第一回の「町内だより」で名前を公募し、「ふれあい新聞」のタイトルが付いたのは第二号から、今は転居されていますが「林栄之」さんの応募によるものです。

さて、八十号の記念すべき発刊を迎えた今、改めて、この「ふれあい新聞」が身近な情報誌として発刊し続けるよう努力すること。また、更なる町内コミュニケーションの活性化に資するため一層、中身の充実をめぐることを決意したところであります。

皆様方には、今後ともこの宝物を大切に育て続けていくため、ご協力ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

<p><b>町内だより</b></p> <p>創刊号</p> <p>昭和62年1月1日</p> <p>田中野田町内会</p>	<p>田中野田ガーートビー</p> <p>代表者 久山</p> <p>会員数 20名</p> <p>活動内容</p> <p>6.1年度は岡山</p> <p>岡山市老人クラブ</p> <p>ひとこと</p> <p>【健康長寿、幸福</p> <p>大感謝しく和や</p> <p>大歓迎】どしど</p>
<p>町内だより発刊にあたって</p> <p>田中野田町内会会長 中尾 佐之吉</p> <p>あけましておめでとうございます。</p> <p>存続にあたりまずは新年のごあいさつを申し上げますとともに皆様方のご健康とご多幸を心からお祈りいたします。</p> <p>さて、町内会の運営には皆様方とのコミュニケーションが最も大切であると存じまして、かねてから『町内だより』発刊を企画していましたが、機熟してこのたび実現のはこびとなりました。ご賞のようにささやかなものです。</p> <p>今後、よりよいものに成長させてゆきたいと念願していますので皆様方のご意見、ご支援を賜りますようにお願いします。</p>	<p>田中野田王子ども会</p> <p>代表者 安本</p> <p>会員数 60名</p> <p>活動内容</p> <p>子供会では文化</p> <p>目標しています</p> <p>ひとこと</p> <p>【11月18日にふ</p> <p>ています。家族</p>
<p>田中野田町内において清濁されている方々、各種団体・サークルの紹介。</p> <p>民生委員(児童委員) 和氣 賢 純</p> <p>活動内容</p>	<p>田中野田産婦</p> <p>代表者 櫻 野</p> <p>役員数 10名</p> <p>活動内容</p>

創刊号抜粋 [田中野田町内会ホームページでご覧いただけます]

